

疑似避難所体験セミナー ～生き延びるために～

1 趣旨 未曾有の大惨事をもたらした東日本大震災の勃発から5年が経過しようとしています。地震や津波から逃れてきた人々のために設営された避難所での生活の過酷さは、現在でも生々しく人々の記憶に残っており、災害時には逃れるすべだけでなく、逃れた後の避難所での生活をも想定した備えを必要としていることを物語っています。

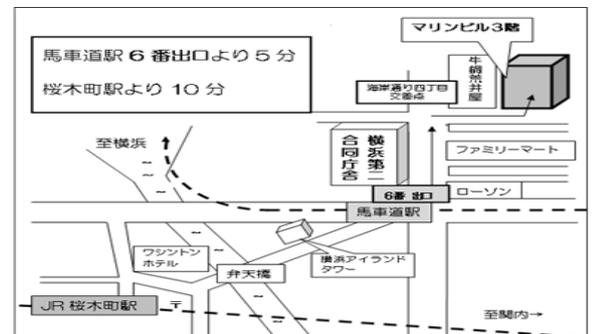
本セミナーでは、避難所で起きたことを再現してシミュレーションを行い、避難所で生活するために必要な連携や知恵について学び、災害の記憶を風化させることなく語り継ぐことを目的としています。

- 2 主催 公益社団法人 神奈川県介護福祉士会
協力 新潟医療福祉大学、宮城県介護福祉士会、新潟地域福祉協会
- 3 日程 平成28年3月8日(火)午前10時～午後2時
- 4 会場 神奈川県介護福祉士会研修センター(横浜市中区海岸通 4-23 マリビル306)
- 5 受講料 2,500円(昼食代を含む) *当日徴収いたします。
- 6 定員 30名
- 7 申込締切 平成28年2月29日(月)*先着順
- 8 申込方法 下記の申込用紙に記入の上、FAXでお申込みください。
- 9 実施内容

A) これまでの避難所の状況の説明(岡田史 新潟医療福祉大学教授)

B) 疑似避難所体験

- ① ブルーシートを敷いてその場所にレスキューブランケットをかけて寝る体験
- ② 高齢者疑似体験のシュミレーターを装着しての避難体験
- ③ 段ボールベッドの組み立て体験
- ④ 視覚障害者や聴覚障害者の避難体験
- ⑤ 赤ちゃんや赤ちゃんを連れている人の体験
- ⑥ 騒ぎたい子どもの体験
- ⑦ 緊急配置のトイレの体験
- ⑧ サランラップの活用体験
- ⑨ 温カタオルの体験
- ⑩ 新聞紙の活用体験
- ⑪ 食事を配る体験
- ⑫ レスキューフードと乾パンの食事体験(実際の昼食として食べていただきます)



<会場 地図>

C) 避難所体験を実施して、実際に避難所マップを作成する

D) 作成した避難所マップを示し、作成する過程において学んだことを発表する。

E) 被災体験を聴く「栗石宮城県介護福祉士会会長の介護支援ボランティア体験」

～申込書(切り取らずにこのままFAXしてください)～

| | | |
|-----|------------|-----|
| 氏名 | 一般・会員(No) | |
| 住所 | 〒 | |
| 連絡先 | 電話 | FAX |

問合せ先 TEL045-319-6687 FAX 045-222-6676